



あわただしい師走ですが、皆さまには毎月のモニタリング調査にご協力いただき誠にありがとうございます。

冬場は、河川・水路によっては本当に採水しにくいところがあり、いろいろご苦労かけていることと思います。水量が少ない場合は、少し調査地点を移動しても構わないので、深みのあるところを探して採水してみてください。その際には、測定結果にコメントを付してお送りください。また、水路に降りられる場合では、板をあてると水が堰きあがり採水しやすくなりますので、参考にしてください。

ふちもに活動情報

● はんぱ川クリーン活動

安城の原風景である田園風景を保全するため、「エコネットあんじょう」主催・安城市共催で2日間の美化清掃活動が行われました。

日時：11月18日(日) 9:00~11:00

12月2日(日) 9:00~11:00

場所：半場側堤防と周辺(隅田橋~内浜橋)

内容：参加者500人

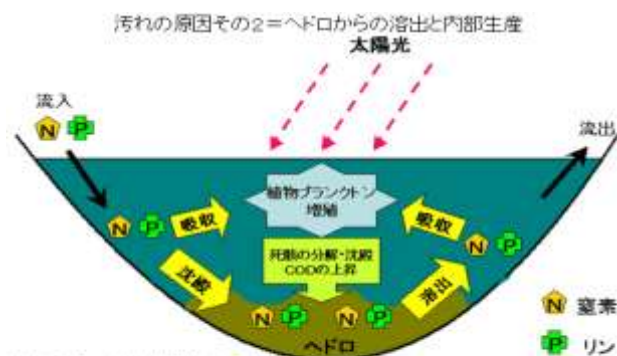
集めたゴミ 1,470kg

問合せ：安城市役所環境都市推進課

(杉浦：0566-76-1111)

油ヶ淵キーワード③- “内部生産”

油ヶ淵は小さな湖で、水深が浅いため、水が入れ替わる時間(滞留時間)が長くなると、日射量の増加とともに植物プランクトンの増殖速度が速くなります。生物の活動が活発になるということは、それだけ汚れの原因が湖の底に沈殿・堆積していくことになります。堆積した底泥からはリンや窒素などが溶け出し、これらを栄養源としてさらに多くの植物プランクトンが増殖していきます。このように湖内では、汚れの原因物質が生産→沈殿→溶出→生産されるという悪循環が起きていると考えられます。



内部からの汚濁物質生産要因
 ・湖水が滞留している時間が長いこと
 ・水深が浅いこと
 ・底泥から窒素、リンが溶け出し、プランクトンの増加が促進されること

平成19年度油ヶ淵流域水環境モニタリング 結果報告会のお知らせ

日次：平成20年2月13日(水) 13:30~

場所：安城市環境クリーンセンター

内容：同送の案内書をご覧ください。

スームイン! - のどか -

我々は、平成16年度安城市環境アドバイザーに登録した4グループの一つで、安城の南東部に住むチームです。登録後、油ヶ淵流域水環境市民モニタリングを紹介されメンバー4名で応募しました。

測定地点は朝鮮川の最上流部で、安城南高校からアイシン(株)小川工場の東側の3か所です(本年23号線下の1箇所追加)。人家の少ないところですし、比較的川にゴミの少ないところです。

4名で測定開始し、現地でのCOD測定は温度調整が難しく、温度範囲内で測定できるように、アイスボックスを使用し、温度調整をするように工夫しました(水環境モニタリングマニュアルに例として掲載されました)。

しかし、現メンバーは測定箇所周りの状況を知る者はいなく、町内会長に連絡したところ、総代さんをメンバーに加える事が出来、情報が入りはじめました。

1. 朝鮮川のシジミ情報があり、台湾シジミが捕獲できました。(種類は県の調査でわかりました。)
2. リン濃度の高い場所が見つかりました。
3. アユの情報が入ってきました、何人かと確認し、写真に撮りました。(前号「ふちもに」参照)

本年、小学生、町民に、朝鮮川を知ってもらいたく、測定参加を頼みましたが、現在参加者はありません。

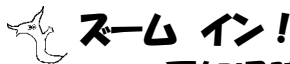
また、昨年は新・旧アドバイザー仲間に呼びかけ、モニタリングメンバー人員不足の補充を図りました。今後の進め方

- ① 地元の方の参画要請(地元への理解・協力要請)
- ② リン濃度の高いところの原因調査
(水地盤環境課に協力し、進めていきます。)

主なメンバー



b y 深津



— 愛知県建設部河川課 —

～油ヶ淵の水環境改善への取組～

油ヶ淵を潤いと安らぎのある水辺空間とし、また、生物の良好な生息・生育環境を創出するために、平成16年度に「油ヶ淵第二期水環境改善緊急行動計画（清流ルネッサンスⅡ）」が策定されました。この計画の取りまとめ等の事務は河川課が行っています。

清流ルネッサンスⅡは、第一期計画の「清流ルネッサンス21」を継承し、油ヶ淵の水質汚濁機構の解析、水質目標の設定（図1）、実施すべき水環境改善対策を示しました。対策の実施にあたっては、県及び流域4市に加え、市民の皆様のご協力により、流域一体となった総合的な対策を推進するとしています。これは油ヶ淵の汚濁の主な原因が生活排水であり、水質目標達成のためには、削減すべき負荷量（COD）の約95%を生活排水対策で行う必要があります（図2）。

現在のところ、各対策の進捗状況は下表のとおりですが、油ヶ淵の水質は、ここ数年、横ばいです。今後も引き続き、各主体の連携により、水環境改善対策を推進する必要があります。

市民の皆様には、各家庭での下水道への早期接続や啓発イベントへの参加など、地元地域における環境保全の意識と行動の拡大に一層のご理解とご協力をお願いします。

担当 環境・海岸グループ（伊藤）
電話 052-954-6556（タ イヤルイ）



県からのお知らせ

モニタリング結果の新たな活用について

市民モニタリンググループの皆様、日ごろの活動誠にありがとうございます。平成17年4月から始まりましたこのモニタリングも2年を過ぎています。このモニタリング調査は行政と地域住民の皆様方の協働により、油ヶ淵及びそこにつながっている河川や水路のモニタリングを詳細に行い、「油ヶ淵第二期水環境改善緊急行動計画（清流ルネッサンスⅡ）」に位置づけられた対策によって水質がどう変化していくかを調べることも目的としています。

そこで、平成17、18年2年間のモニタリング結果を整理し、他の地点に比べ水質が悪くなっている地点、17年度に比べ18年度に水質が悪くなっている地点をピックアップして、その地点の周辺に存在している水質汚濁防止法の届出のある比較的排水量が多い工場・事業場に対し、原材料の使用状況及び、汚水処理の方法についての確認を行い、必要に応じその改善指導を実施していくこととしました。

また、油ヶ淵へ流れ込む汚れの内多くの割合を占めている生活排水についても、ピックアップされた地点のうち生活排水の影響が大きいと考えられる地点の周辺にお住まいの方々に対し、生活排水対策の徹底について市町村を通じて啓発を実施していくこととしました。

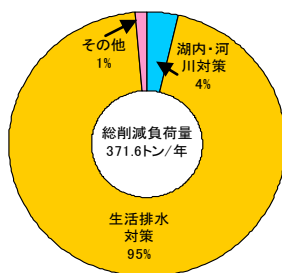
今後は、水質汚濁防止法の届出対象となっていない工場・事業場やその他の発生源についてもその影響の程度を考え、事業主体の皆様方にも協力を求めていることが必要と考えております。

引き続き行政関係機関と地域の皆様方の協働によりまして、油ヶ淵とその周辺河川の水質改善に向けて取り組んでいきたいと考えておりますので、皆様方のご協力をお願いします。

図1 油ヶ淵清流ルネッサンスⅡ 目標（平成22年度）

- CODの改善(総合指標)
湖岸で不快に感じないレベル(8 mg/L以下)
- DOの改善(生物の生息環境指標)
魚貝類等の水中生物の生息可能なレベル(3mg/L以上)
- にごりの改善(観水指標)
水辺で湖底が見えるレベル(透視度30cm以上、透明度1m以上)

図2 各対策でH22までに削減すべき負荷量（COD）の割合



H19年11月5日
市民グループの方々との工場・事業場調査の打合せ及び現場確認を行いました。ご協力ありがとうございました。

担当 規制・監視グループ（柘植）
電話 052-954-6221（タ イヤルイ）

表1 油ヶ淵清流ルネッサンスⅡの主な対策の進捗状況（平成18年度末）

主な対策	目標値	18年度実施	
河川対策	河川・湖内浚渫	累計163万㎡	13万㎡(累計30万㎡)
	湖内覆砂	累計126万㎡	16万㎡(累計26万㎡)
	河川・湖内植生浄化	累計9000m	135m(累計135m)
	河川直接浄化	東墨田川、稗田川、長田川、切間川の施設運転	運転管理
生活排水対策	下水道の整備	普及率64% 接続人口55,625人	53% 37,277人
	農業集落排水	接続人口2,084人	1,937人
	合併処理浄化槽整備	浄化槽人口8,356人	11,051人
その他	普及啓発等	—	アクション油ヶ淵、一斉清掃、水環境モニター等

清流ルネッサンスⅡ : http://www.aburagafuchijp/web_page/renaissance2/index.html

油ヶ淵流域市民モニタリング

ふちもに情報局 vol. 4 平成19年12月発行

発行 愛知県環境部水地盤環境課
調整・生活排水グループ
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1-2
電話 052-954-6219（タ イヤルイ）
mail : mizu@pref.aichi.lg.jp